

展示室 1 都市の遊歩者（フラヌール）

産業革命によって近代化が進むと、市民社会は成熟し、華やかな時代を迎えます。画家たちは都市の街路をそぞろ歩き、群衆のなかに埋もれつつ、その情景を巧みに表しました。彼らは近代的な生活に身を置くことで、自ら体感した街の雰囲気、とるに足りない些細な出来事を、クローズアップして取り上げます。様々な人が集う通りや市場といった街の雑踏は、「都市の生活者」である画家にとって格好の題材となりました。また、華やかなファッションに身を包んだ女性もしばしば描かれ、当時のモードの着こなしを見ることがもできます。この一室では、ピアズリー、シッカート、ホイッスラーをはじめとした画家たちによって捉えられた近代の都市風俗をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
オーブリー・ピアズリー	自画像		ラインブロック・紙	
オーブリー・ピアズリー	『イエロー・ブック』第2巻表紙デザイン	1894	ラインブロック・紙	
オーブリー・ピアズリー	『イエロー・ブック』第2巻タイトルページデザイン	1894	ラインブロック・紙	
オーブリー・ピアズリー	『ピエロ・ライブラリー』表紙デザイン	1896	ラインブロック・紙	
オーブリー・ピアズリー	『ピエロ・ライブラリー』裏表紙見返しデザイン	1896	ラインブロック・紙	
オーブリー・ピアズリー	「セット・オヴ・オッド・ヴォリュームズ」喫煙招待状デザイン	1895	ラインブロック・紙	
オーブリー・ピアズリー	J.ラムステン・プロバートの蔵書票（『イエロー・ブック』第1巻挿絵）	1893	ラインブロック・紙	
オーブリー・ピアズリー	夜景（『イエロー・ブック』第1巻挿絵）	1894	ラインブロック・紙	
オーブリー・ピアズリー	ドストエフスキー著『貧しき人々』タイトル・ページデザイン	1894	ラインブロック・紙	
オーブリー・ピアズリー	メッサリーナ（ユヴェナリス著『6番目の風刺』挿絵）	1895	ラインブロック・紙	
オーブリー・ピアズリー	ジュゼッペ・ヴェルディ		写真製版	
オーブリー・ピアズリー	レジャーヌ		写真製版	
アルバート・ジョゼフ・ムーア	黄色いマーガレット	1881	油彩・キャンバス	
サー・エドワード・コリー・パーソン=ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス	
ウォルター・シッカート	ムガール・タヴァーン、ドルーリー・レーン	1908	エッチング、アクアチント・紙	ローダーコレクション
ウォルター・シッカート	空中庭園	1926-9	エッチング・紙	ローダーコレクション
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	寝床での読書	1858	エッチング・紙	ローダーコレクション
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ランプの明かりでの読書	1858-9	エッチング、ドライポイント・紙	ローダーコレクション
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	ピエロ	1889	エッチング・紙	ローダーコレクション
ジェームズ・アボット・マクニール・ホイッスラー	渡し場 No.2	1880	エッチング、ドライポイント・紙	ローダーコレクション
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス	
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス	
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802	油彩・紙、キャンバス	
サー・フランク・ブランギン	市場		エッチング・紙	
テオドル・ルーセル	小さな魚屋、チェルシー		エッチング・紙	ローダーコレクション
テオドル・ルーセル	門、チェルシー		エッチング、ドライポイント・紙	ローダーコレクション
ウォルター・グリーヴズ	デューク通り、チェルシー	1860	エッチング・紙	ローダーコレクション
ジョセフ・ベネル	聖パーソロミュー・ゲイト	1907	エッチング・紙	ローダーコレクション
ジョセフ・ベネル	ベッセマーへ向かって	1908	エッチング・紙	ローダーコレクション
ジョセフ・ベネル	弾丸製造塔	1906	エッチング・紙	ローダーコレクション
シリル・エドワード・パワー	地下鉄の階段	1929	リノカット・紙	
サー・フランク・ブランギン	花園	1899 頃	油彩・板	

展示室 2 近現代の日本画

この部屋では、新収蔵品を中心に当館の日本画コレクションをご紹介します。

当館は、郡山市出身の安藤重春や黒沢吉蔵をはじめ、二本松市出身の荻生天泉、三島町出身の酒井三良など、郷土ゆかりの作家を中心に日本画作品の収集を進めてきました。なかでも、昨年度新たに購入した荻生天泉《汝月明也》と酒井三良《会津の樵人》の2作品には、天泉が得意とした優美な人物表現や、三良が生涯を通して描き続けた郷土・会津の静穏な自然と人々の暮らしなど、それぞれ作家の個性がよく表れています。さらに昨年は、京都画壇で独自の展開を見せた玉村方久斗と小野竹喬の屏風作品を郡山市内のご所蔵家からご寄贈いただき、コレクションは一層多彩な広がりをもせています。近現代日本画の魅力に親しむ機会となれば幸いです。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
荻生 天泉	行成卿	1932	岩絵具・紙／二曲一双屏風	
安藤 重春	雨の華	1979	岩絵具・紙	
黒沢 吉蔵	大和箸中	1980	岩絵具・紙	
安藤 重春	レッスン	1977	岩絵具・紙	安藤重春氏寄贈
黒沢 吉蔵	冬	1964	岩絵具・紙	黒沢吉蔵氏寄贈
安藤 重春	あんず	1932-37 頃	岩絵具・絹	安藤重春氏寄贈
安藤 重春	水道	1977	岩絵具・紙	安藤ヒサヨ氏寄贈
菊地 養之助	雪野	1976	岩絵具・紙	菊地一郎氏寄贈
玉村 方久斗	柘榴	1924 頃	墨、岩絵具・絹／二曲一双屏風	西山昭二郎氏寄贈
酒井 三良	会津の樵人	1917	紙本着色／二曲一隻	
荻生 天泉	汝月明也	1932	絹本着色／軸	
小野 竹喬	風景	1922-23	岩絵具・絹／二曲一双屏風	西山昭二郎氏寄贈

展示室3 尖る美術 シッカートとその時代

19世紀末のイギリス美術界は、ロイヤル・アカデミーを中心とする保守的な制度が依然として影響力をもっていました。フランスの印象派やポスト印象派の受容を背景に、新たな表現を模索する画家たちが独自の団体を形成していきました。その動きを牽引したひとりが、ウォルター・シッカートです。彼は都市ロンドンの現実には鋭く向き合い、都市の光景や劇場、時に不穏さを帯びた親密な室内空間を描き出すとともに、カムデン・タウン・グループなど複数の美術団体を通じて若手を導きました。本章では、シッカートを起点に、都市と生活、世界大戦、急速に変化する近代社会といった主題に、鋭い時代感覚と独自の表現で応答した画家たちによる、イギリスにおけるモダニズムの展開を紹介します。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
ウォルター・シッカート	カフェの中	1914 頃	油彩・キャンバス	
ウォルター・シッカート	麦わら帽子	1907 頃	リトグラフ・紙	ローダーコレクション
ウォルター・シッカート	古風な考えの私の母	1928 頃	エッチング・紙	ローダーコレクション
ウォルター・シッカート	カムデン・タウンの殺人	1908	エッチング、アクアチント・紙	ローダーコレクション
ウォルター・シッカート	サセックス広場、リージェンツ・パーク	1920	エッチング・紙	ローダーコレクション
シルヴィア・ゴス	化粧台に立つ裸婦		リトグラフ・紙	ローダーコレクション
チャールズ・ジナー	コーンウォールのコテージ		木版・紙	ローダーコレクション
チャールズ・ジナー	ウェスト・ヒースにて		木口木版・紙	ローダーコレクション
チャールズ・ジナー	ピット・ハウス	1931	木口木版・紙	ローダーコレクション
ロバート・ベヴァン	馬商人（ウォードの倉庫 No.1）	1919	リトグラフ・紙	ローダーコレクション
ロバート・ベヴァン	ウォードの倉庫での競売（ウォード No.2）	1921	リトグラフ・紙	ローダーコレクション
ロバート・ベヴァン	馬市（バービカン No.1）	1920	リトグラフ・紙	ローダーコレクション
ロバート・ベヴァン	バービカンの馬商人（バービカン No.2）	1921	リトグラフ・紙	ローダーコレクション
ミュアヘッド・ボーン	キオッジャのアーチ道		エッチング・紙	ローダーコレクション
ミュアヘッド・ボーン	サンティ・アポストリ運河と橋、ヴェニス	1916-24	エッチング・紙	ローダーコレクション
ジョン・ナッシュ	荷車に積まれた干草	1920	木口木版	ローダーコレクション
ジョン・ナッシュ	森への小道	1927	木口木版	ローダーコレクション
ジョン・ナッシュ	雌牛	1929	木口木版	ローダーコレクション
ポール・ナッシュ	ドイツ製二重トーチカ、ゲルフェルト	1918	リトグラフ・紙	ローダーコレクション
ポール・ナッシュ	夜間行軍	1918	リトグラフ・紙	ローダーコレクション
クリストファー・リチャード・ウィン・ネヴィンソン	『航空機製作の六場面』より			
	アセチレン溶接工	1917	リトグラフ・紙	ローダーコレクション
	部品組立	1917	リトグラフ・紙	ローダーコレクション
	エンジン製作	1917	リトグラフ・紙	ローダーコレクション
クリストファー・リチャード・ウィン・ネヴィンソン	アラスからババームへの道	1918	リトグラフ・紙	ローダーコレクション
リュシアン・ピサロ	C. ペロー『眠れる美女と赤ずきん』	1899	木口木版／本	ローダーコレクション
ディヴィッド・ボンバーグ	『ロシア・バレエ』4	1914-19	カラーリトグラフ・紙／本	ローダーコレクション
クリストファー・リチャード・ウィン・ネヴィンソン	休憩するフランス軍	1916	ドライポイント・紙	ローダーコレクション
エドワード・ウォズワース	ストリート・シンガー	1914	木版・紙	ローダーコレクション
エドワード・ウォズワース	内部		木版・紙	ローダーコレクション
エドワード・ウォズワース	創造	1917	木版・紙	ローダーコレクション

展示室4-① 版画のなかの子どもたち

版画は、当時の社会や日常を身近に映し出しています。なかでも「子ども」は、その時代の価値観や、社会が抱える不安や希望を象徴する存在として、繰り返し描かれてきました。子どもは、弱く守られるべき存在であると同時に、その時代が抱いた理想や葛藤を反映するイメージとして、版画のなかに描かれてきたのです。

明治から昭和にかけて、版画のなかの子どもをめぐるイメージの変遷を追うことで、美術と社会の関係、そして未来へ向けられたまなざしのあり方を問い直し、近代社会における子ども観の形成過程を浮かび上げさせます。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
岡村 政子	忠臣義士	1891(明治 24)	石版・紙	
亀井 至一	常盤雪中抱孤出図	1882(明治 15)	石版、手彩色・紙	
岡村 政子 (推定)	愛犬と少女	1898(明治 31)	石版・紙	明治版画コレクション
太田 節次	角力遊	1892(明治 25)	石版、手彩色・紙	丹尾安典コレクション寄贈
黒木 半之助	ハイカラ ノ ポーヤ	1909(明治 42)	石版、手彩色・紙	丹尾安典コレクション寄贈
太田 節次	可愛三人子	1891(明治 24)	石版、手彩色・紙	長谷川宏コレクション寄贈
加藤 進太郎	童児狐拳之図	1889(明治 22)	石版、手彩色・紙	明治版画コレクション
熊澤 喜太郎	今金時	1891(明治 24)	石版、手彩色・紙	明治版画コレクション
恩地 孝四郎	『HANGA 第壹輯』(版画の家)より 母と子	1924(大正 13)	木版、エッチング/ポートフォリオ	
北川 民次	母子像	1973(昭和 48)	エッチング・紙	
福田 利秋	福寿草	1967(昭和 42)	木版・紙	福田利秋氏寄贈
福田 利秋	花	1933(昭和 8)	木版・紙	福田利秋氏寄贈
岩谷 徹	若き道化	1981(昭和 56)	メゾチント・紙	
岡村 政子	親愛ノ姉稚児喜ビノ図	1888(明治 21)	石版、手彩色・紙	明治版画コレクション
藪崎 芳次郎	小児犬戯図	1886(明治 19)	石版、手彩色・紙	明治版画コレクション
安井 曾太郎	少女と大このはづく	1939(昭和 14)	リトグラフ・紙	
秋山 泰計	母子像	1973(昭和 48)	木版・紙	
秋山 泰計	鳥をねらう猫を抱く少女	1976(昭和 51)	木版・紙	秋山照子氏寄贈
菅野 陽	生	1962(昭和 37)	リフトグランド・エッチング、 アクアチント・紙	
横井 弘三	子供		油彩・キャンバス	

展示室4-② ガラスの造形

デザイナーの豊かな感性、それを形にする職人たちの高い技術力による「ガラスの造形」をご覧ください。

スコットランド出身のクリストファー・ドレッサー (1834-1904) は、グラスゴーのジェームズ・クーパー＆サンズ社のために「クルーサ・ガラス」をデザインしました。近くを流れるクライド川の古名に由来して名付けられ、のびやかなフォルム、美しいマーブル模様、そして細かな気泡や金属箔が、想像力をかき立てます。

郡山市出身の佐藤潤四郎 (1907-1988) は、ガラス工芸家・デザイナーです。制作を担う職人に深い敬意を払い、協働のなかから生まれた作品には、手になじむぬくもりが宿っています。硬質でありながらしなやかに形を変える、ガラスという素材の可能性を感じながらご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
クリストファー・ドレッサー	花瓶 (緑色クルーサ・ガラス)		ガラス	
クリストファー・ドレッサー	瓶 (茶色クルーサ・ガラス)		ガラス	
クリストファー・ドレッサー	プロペラ瓶 (緑色クルーサ・ガラス)		ガラス	
クリストファー・ドレッサー	瓶 (緑色クルーサ・ガラス)		ガラス	
クリストファー・ドレッサー	ローマン瓶 (緑色クルーサ・ガラス)		ガラス	
クリストファー・ドレッサー	花瓶 (赤色クルーサ・ガラス)		ガラス	
クリストファー・ドレッサー	瓶 (淡緑色クルーサ・ガラス)		ガラス	
クリストファー・ドレッサー	花瓶 (緑色クルーサ・ガラス)		ガラス	
各務 鑛三	クリスタル花瓶《鱗影》	1970(昭和 45) 頃	ガラス/宙吹・気泡封入、グラヴェール	田淵十一氏寄贈
佐藤 潤四郎	鍛鉄吹込花器 (顔)	1986(昭和 61)	ガラス、鉄/鍛鉄吹込	
佐藤 潤四郎	鍛鉄吹込花器・灯もつけて	1986(昭和 61)	ガラス、鉄/鍛鉄吹込	
佐藤 潤四郎	鍛鉄吹込花器 (グリーン)	1986(昭和 61)	ガラス、鉄/鍛鉄吹込	

作者名	作品名	制作年	技法・材質
佐藤 潤四郎	鍛鉄吹込花器		ガラス、鉄／鍛鉄吹込・雲母封入
佐藤 潤四郎	花器・一寸考えて		ガラス／宙吹
佐藤 潤四郎	花器・ちょっと考えて（樹）		ガラス／宙吹・グラヴェール
佐藤 潤四郎	花器・何をしようか	1986(昭和 61)	ガラス／宙吹
佐藤 潤四郎	ボウル（グリーン）		ガラス／宙吹き
佐藤 潤四郎	花器（グリーン）		ガラス／宙吹
佐藤 潤四郎	花器・仏足跡ロータス		ガラス／宙吹、サンドブラスト 佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎	舍利器（カレット入り）		ガラス／宙吹・カレット融着
佐藤 潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舍利器（控） No.1	1980(昭和 55)	ガラス／宙吹・カット
佐藤 潤四郎	舍利器		ガラス／宙吹・気泡封入、 プランツ
佐藤 潤四郎	花器・穴があいてちょっと考えた	1980-82(昭和 55-57) 頃	ガラス／宙吹・カット
佐藤 潤四郎	ブルー花器		ガラス／宙吹
佐藤 潤四郎	ルーマー杯・大好きな形		ガラス／宙吹・プランツ
佐藤 潤四郎	ルーマー杯・なみなみのワインを		ガラス／宙吹・グラヴェール、 プランツ
佐藤 潤四郎	大杯・ガラスを吹く人	1986(昭和 61)	ガラス／宙吹・グラヴェール、 プランツ 佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎	大杯・ワインを造る		ガラス／宙吹・グラヴェール、 プランツ 佐藤久枝氏寄贈
佐藤 潤四郎	手吹きウイスキーボトル《スーパーニッカ》初号モデル	1962(昭和 37) 頃	ガラス／宙吹 川崎清氏寄贈
佐藤 潤四郎	ウイスキーボトル「インペリアル」		ガラス／機械吹き・カット サントリー(株)寄贈
佐藤 潤四郎	瓶・ガラスの神様		ガラス／宙吹・グラヴェール、 プランツ
佐藤 潤四郎	オブジェ・ガラスを吹く人（2点組）		金工（鍛鉄） 大方竜子氏寄贈

ロビー展示 彫刻・他

	作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1 階	アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒
	アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
	笠置 季男	躍進	1958（昭和 33）	セメント
●2 階展示ロビー	舟越 保武	少女	1956(昭和 31)	砂岩
	佐藤 静司	子供頭部	1955(昭和 30)	木彫 佐藤静司氏寄贈
	木内 克	女の顔	1965(昭和 40)	石膏、顔料 和田敏文氏寄贈
	山本 正道	帽子を被る男の肖像	1970-4(昭和 45-9)	ブロンズ
	佐藤 静司	遙か	1989(平成元)	ブロンズ 宇野洋子氏寄贈
●前庭	バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ